



マウスいらずのマウス機能特集

ニュースレター15号では、Do-will 研修所に置いてあります珍しいマウスについてご紹介しましたが、今回はマウスを持たずにマウス機能进行操作するという支援機器・ソフトウェアをご紹介します。

どれも四肢麻痺や脊髄損傷などでパソコンの操作・入力が困難な方のために開発されたもので、なるべく簡単で分かりやすいように設計されていますので導入・操作も楽かと思えます。

舌・ほほ・息でも操作

マウス操作は手ばかりではありません。顔の色々な部分でスイッチを押し、マウスを操作する事が出来ます。

クチマウスは舌やほほで先端を動かすことによってマウスポインタを動かし、押し込む事でクリックする事ができます。

スイッチ類は別途機器を使用する事により、舌や指先、ほほなどでマウスポインタの移動やクリック操作をする事が可能となります。



クチマウス



左：ホットタッチスイッチ
右：プレススイッチ



ポイントタッチスイッチ

顔の動きでマウス操作!!

[Face Mouse](#)
&
[Camera Mouse](#)

インストールすることによりウェブカメラに映った鼻など顔の一部を認識させ、動きを読み取る事によってマウスポインタの移動・クリックをする事が可能になります。

Camera Mouse はなんと
“無料”

ウェブカメラをお持ちで Windows をお使いの方はぜひインストールし、近未来感(!?)をお試しください。



今回ご紹介しました支援機器などは「東京都障害者 IT 地域支援センター」(東京都文京区)にて展示されています。

他にもマウスやスイッチなどの機器やソフトがインストールされた PC が常時数十点展示されており、自由に試してみることができます。

操作性を体感できますので、関心のある方は見学してみてもはいかがでしょうか。

